

せいび

『 学校に泊まろう 』

校長 樋口 奈津子

令和7年度の学校運営協議会の中で提案された「学校に泊まろう」が現実のものになりました。

昨年度から少しずつ計画を立て、PTA 総会で紹介し、さらに活動内容やタイムスケジュールの検討など、細かいところを詰めて、当日を迎えました。

『子どもたちが楽しめる場を設定できないだろうか』というところから始まった「学校に泊まろう」ですが、PTA 会長をはじめとする PTA 理事の皆様が中心になり、進めてくださいました。学校運営協議員の方々も「子どもたちが遊べるゲームを提供するよ。」「防災食があるから、試してみて。」等、ご協力いただきました。改めて、地域の皆様の温かさを感じました。ありがとうございました。

今回の学校だよりでは、7月17日（金）「学校に泊まろう」の様子をお知らせします。

午後7時からの受付に、家で夕飯を食べ、入浴を済ませた子どもたちがやってきました。保護者の皆様と一緒に寝袋などの荷物を抱え、わくわくした表情です。受付を済ませるとすぐに、事務局で準備して下さった「ランタンづくり」をしていました。自分の好きな色を選び、持ち手をテープで付け、マジックでイラストなどを描いていきます。素敵なランタンが出来上がっていました。

始めの会の後、危機管理局の方が防災クイズを出したり、防災グッズの説明をしてくださったりしました。空気を入れると膨らむマットや、組み立て式の簡易ベット、プライベートな空間をつくるパーテーションなども見せてくださり、実際にマットに寝てみる子もいました。災害があったとき、少しでも快適に過ごせるようにという工夫を学ぶことができました。

その後、午後8時から10時までは自由時間です。ナイトウォーク希望者が多かったので、3グループに分かれて豊門公園へ。夜の豊門公園には、仕かけがちりばめられていて、ドキドキしました。

学校に戻ってきてからは、持参したカードゲームやボードゲームをやったり、図書館で本を読んだり、恋の話に花を咲かせたり…とても楽しそうでした。

そして、いよいよ就寝です。女子は視聴覚室、男子は第2図書館で、保護者の方も一緒に泊まってくださいました。なかなか眠らない子どもたちもいたようですが、それも経験かなと思いました。

翌朝は、音楽室でラジオ体操をやり、家庭科室で防災食をいただきました。五目御飯などを食べて、「すごくおいしい!」と言っていた子どもたち。防災食がいかに美味しくなっているのわかりました。

このような体験ができたのは、PTA 役員をはじめとする保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。せっかく始めたことですから、細く長く続いていくことを願っています。

（学校に泊まろうの様子は HP にも出ています。）

